



こんね!
四季を彩る
ロマンのまち
西都

さいと

古代ロマンと
あふれる自然
日本のふるさと
西都

宮崎県 西都市
SAITO CITY
MIYAZAKI JAPAN

秋



色彩マシ



西都の四季

西都原、ここは西都のシンボル、自然と花の宝庫、四季折々の自然の姿がここにはあります。

春、黄色いじゅうたんをしきつめたまうな菜の花畑と桜。黄色とピンクの競演が終わるころには、高取山のミツバツツジが鮮やかに赤く染まります。

紫陽花が新緑に彩りを添えやがて夏。秋には、コスモスが一面を彩ります。

そして、有楽椿が咲く冬には、春を待つ菜の花で一面おおわれています。



冬



夏



東西2.6km、南北4.2km、標高50~80mの平坦な洪積世台地上及びその周辺におよそ4世紀から7世紀のはじめに築造されたと推定される300有余基のさまざまな形をした古墳が点在しています。昭和27年に国の特別史跡に指定され更にわが国第1号の風土記の丘として昭和41年から44年にかけて整備されました。その古墳の大部分ははまだ発掘されないまま、多くの古代の謎を秘めて千数百年もの時を眠り続けています。

出土品



こもちえがたはにわ
子持家形埴輪 (重要文化財)



ふながたはにわ
舟形埴輪 (重要文化財)



こんどうせいばくろい
金銅製馬具類
(国宝)

謎を秘め

静かに眠りつづける

聖なる地



特別史跡 西都原古墳群

特別史跡 西都原古墳群



陵墓参考地(男狭穂塚・女狭穂塚)

男狭穂塚は、墳長約176m、高さ約19mの国内最大の軌立貝形古墳で、二重の周溝をもっています。また、女狭穂塚は男狭穂塚と同じく墳長約176m、後円部長約96m、高さが15m近い九州最大の規模を誇る前方後円墳です。男狭穂塚は二ニギノミコト、女狭穂塚はコノハナサクヤヒメの御陵と伝えられるなど、西都原周辺には古代のロマンを感じる伝説が数多く残されています。



13号墳

4世紀後半頃に造られたとされる13号墳は、全長79.4m、高さ8.9mの柄杓式前方後円墳です。大正5年に調査が行われており、主体部から画産の三角縁三神三獣鏡、まが玉、武器などが出土しています。



100号墳

墳長571.3m、高さ3.9mの規模で、前方部が緩やかに、三味線の線のように広がる前方後円墳であると確認されました。墳丘は前方部2段、後円部3段に造られています。出土した壺形土器より築造年代は4世紀前半と考えられます。



170号墳【雑掌(殺生)塚】

西都原古墳群では最大級の円墳で、径が約47m、高さ約3.5mあり、高溝も確認されています。舟形埴輪、子持家形埴輪などの重要文化財が出土しており、男狭穂塚の陪塚と考えられています。



171号墳

西都原古墳群唯一の方墳とされ、大きさは一辺25m、高さ4.5mで周溝をもっており、墳丘は2段に築かれ、葺石と円筒埴輪列が施されていました。女狭穂塚の陪塚と推定されています。



鬼の窟古墳

6世紀後半から7世紀初頭に築かれた、専径37m、高さ7.3mの円墳で周囲に土塁をめぐらせた国内唯一の特色ある古墳です。西都原古墳群で唯一横穴式石室を有する古墳で最後の首長墓とされています。また、コノハナサクヤヒメに恋した鬼がこの窟を一夜の内に造ったという伝説も伝えられています。



児屋根塚古墳(茶臼原古墳群)

天児屋根命(アメノコヤネノミコト)の陵(みささぎ)と伝えられ、墳長110m、前方部63m、後円部64m、扇型の周溝を有する前方後円墳です。築造年代は出土遺物や墳丘の形状などから5世紀前半から中頃に位置づけられています。



千畑古墳(市内穂北地区)

国指定史跡の千畑古墳は一ツ瀬川流域の左岸にあり、墳形は前方後円墳で真南に開口する横穴式石室には、多くの巨石が使われています。西都原の鬼の窟古墳と同様な石室を有している古墳です。築造年代は古墳時代後期といわれています。



松本塚古墳(市内三納地区)

ウガヤフキアエズノミコト(神武天皇の父)の墓と伝えられる松本塚古墳は前方部が大きく開いた二段築成の前方後円墳で、その美しい外形から地元の人々は舟塚と呼んで親しんでいます。築造年代は出土遺物などから5世紀末葉前後と推定されます。



常心塚古墳(市内三財地区)

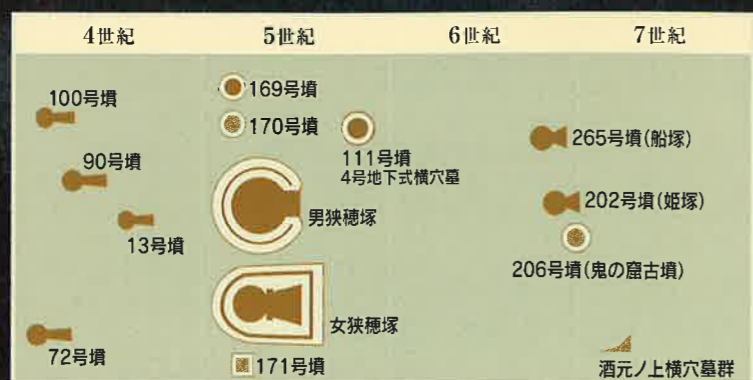
墳丘は方墳の形状をしており、またその外側には土塁がめぐらされていて、墳丘は一辺23.8m~25m、高さ3.8m、土塁一辺40mを有しています。石室の一部が露出しており、横穴式石室と推定されます。築造年代は古墳時代終末期といわれています。



向陵の丘

西都原(陵墓参考地)に向かう丘との意味が込められ、第55回全国植樹祭の植樹会場になった丘。

年代別古墳
(西都原古墳群)



いにしえ

ロマン

食べて見て 感じて学ぶ体験 西都原の保存と活用



西都原ガイダンスセンター 「このはな館」

古墳群の概要をはじめ市周辺の史跡などの案内や観光情報の提供、地場産品の販売や古代食の体験など多彩なサービス機能を備えています。



農産物と土産が展示販売されているふるさとコーナー「ゆめ里」



ガイダンスフロアには西都原古墳群のほか、西都原の観光に関する展示を行っています。



敷地南にある登り窯。

しゅんせいめ 旬菜家

古代より食されていた赤米、黒米を含む雑穀米をメインとした自然食レストラン「旬菜家」



イベントの舞台や休憩所として活用されます。



『西都の旬の恵み』
※四季ごとにメニューは変わります。

『旬菜膳』

ぐるど西都原 古代ローマンの創造

古代へ タイムスリップ 見て学んで

南九州の人々の生きた証を見つめる「人と歴史の博物館」。考古学の思想に基づきストーリーに沿った謎解きを展開する「考古博物館」と、様々な情報を検証する「考古学研究所」で構成。ロマンあふれる古代日向の情報発信の拠点として、多くの分野から注目されています。



西都原古墳群遺構保存覆屋 ～酒元ノ上横穴墓群～

酒元ノ上横穴墓群では、10本の墓道と15基の主体部、二重の周溝をもつ円墳が確認されています。建物は1～6号の横穴墓を保護するために建設されたドームで見学することができます。施設内は横穴墓群と調和させるため、県産の杉材を天井部に、ヒノキ材をデッキ部に採り入れています。また、天井部には、乾燥を防ぐために灌水のためのスプリンクラーを設置しています。



13号墳
近年の整備によって、古墳の内部まで見学できる古墳。



古代生活体験館

西都原考古博物館に隣接し、勾玉づくり、土器づくり、火起こしなどの体験ができます。セミナー棟と渡り廊下で結ばれた2棟の制作棟は古代の建築技法を採り入れた造りになっています。



4号地下式横穴墓
111号墳の直下に位置し、玄室はこれまで確認されている中でも最大級の規模。カメラで玄室の内部を見ることができます。



⑥ 児湯の池

コノハナサクヤヒメが3皇子の産湯として水を使われた池。
(⑦の石貫神社まで320m)



④ 八尋殿

ニニギノミコトが、コノハナサクヤヒメと新婚生活のために建てられた御殿の跡。
(⑤の無戸室まで380m)



⑤ 無戸室

一夜で憤死したコノハナサクヤヒメがニニギノミコトに疑われその疑いをとくため戸のない産屋をつくり火をかけて3皇子を出産された場所。
(⑥の児湯の池まで80m)



① 都萬神社

「さいまんさま」とも呼ばれており、日向式内社の一つで、コノハナサクヤヒメを祭神としています。コノハナサクヤヒメが3人の皇子を育てるのにお乳の代わりに甘酒を与えたという伝承から日本清酒発祥の地の碑も建てられています。
(②の御舟塚まで230m)



② 御舟塚

高天原から高千穂の峯に降臨されたニニギノミコトの一行が、海路で奥深い入江であったと伝えられるこの地に到着され、その時の舟が鎮まった所。
(③の逢初川まで1,060m)



⑦ 石貫神社

コノハナサクヤヒメの父オオヤマツミノカミを祭神としています。(⑧の大山祇塚まで330m)



⑨ 鬼の窟

コノハナサクヤヒメを嫁にと請う悪鬼が父神のオオヤマツミノカミより一夜で石造りの館を所望され完成させた窟。(⑩の女狭穂塚まで500m)



⑧ 大山祇塚

オオヤマツミノカミの御陵といわれ伝えられている柄鏡式前方後円墳(全長90m)(⑨の鬼の窟まで820m)



⑩ 男狭穂塚・女狭穂塚

男狭穂塚はニニギノミコト、女狭穂塚はコノハナサクヤヒメの御陵であるといわれています。



記紀の道

記・紀の道



日本で最も古いと云われる『古事記』『日本書紀』には、日本神話の根幹をなす日向神話の事が書いてあります。その伝承の中心になるのは、天孫ニニギノミコトとその妃コノハナサクヤヒメにまつわる説話です。この説話の道筋にあるものが神社や神話伝承地であり古墳です。そして本市においてこの道筋となるものが、古事記の「記」と日本書紀の「紀」から名づけた「記紀の道」です。歩いて一時間の道程(4km)、ロマンの道を楽しんでください。

歴史と文化

歴史と文化

西都は古代日向の都として栄え、その後も政治・経済の要の地として、日向の歴史に大きな役割を果たしています。その歴史は各所に現存する史跡や文化財から垣間見ることが出来ます。民俗文化は庶民の生活と深く関わり、歴史を重ねながら受け継がれてきました。神々への信仰や五穀豊穡の祈願、山村の暮らしを伝える神楽は、庶民の憩いであり、安らぎとなり深く根づいています。



伊東満所(マンシヨ)
(いとうまんしよ)

伊東満所は都於郡城に生まれ、13歳で天正遣欧少年使節団としてローマへ渡り、日本と西欧の親善に大きな足跡を残した西都が誇る郷土の先師です。**[G-4]**



別名「浮舟城」



都於郡城跡(とのおこりじょうあと) **国指定**

南北朝時代建武2年(1335年)、伊豆から下向した伊東氏が高屋山上陵伝承地の都於郡の地に築いた山城で、以来242年にわたり日向の地を治めた伊東氏累代の居城としてその栄華を極めました。標高100mの台地にあり、廻りを急峻な断崖に囲まれ、西北方は三財川が外堀の役割を果たし、五つの城郭から構成された堅固な城で、遠くから眺めた様が、舟が浮いているように見えたところから、別名「浮舟城」と呼ばれています。**[G-4]**



山路毘沙門天立像(やまじびしゃもんてんりつそう) **県指定**

毘沙門天は多聞天とも呼ばれ、四天王の一つであり、もともと仏教の守護神であったが、時代の推移とともに独立して信仰の対象として崇められるようになった富と幸福を招く仏。都於郡第13代城主伊東三位入道義祐が、都於郡城の北方鎮護の神として京都鞍馬寺から勧請して、上山路寺を造った時に持ち込まれた本尊と考えられています。**[E-4]**



長谷観音像(はせかんのんそう) **県指定**

三納の中心地から北方3.2kmの山頂にあり、その御堂には十一面観世音と脇侍の聖観世音及び勢至菩薩像が安置されています。大永2年(1522年)の大火により、寺は宝物・古文書などほとんどを失いましたが、三尊像は頭部のみが無傷で残りました。さらに昭和20年の枕崎台風によって再び倒壊。しかし、この時も三尊像の頭部は無傷で残りました。現在の御堂は昭和56年地元の人々の浄財により再建されたものです。**[E-4]**



日向国分寺跡・木喰五智館(ひゅうがこくぶんじあと・もくじきごちかん) **国指定**

聖武天皇は仏教への帰依が深く、仏教によって国家の理想を実現するという鎮護国家の方針から、全国に国分寺及び国分尼寺を建立しました。日向国分寺は8世紀中頃に建立された官寺です。その跡地には、江戸時代、遊行僧として全国行脚の途中にこの地を訪れた木喰上人によって作造された仏像を安置するための木喰五智館が建てられています。**[F-5]**



銀鏡神楽(しろみかぐら) **国指定**

銀鏡神社の大祭で、12月14日の夕方から15日の朝にかけて徹夜で舞い続けられる神楽で、国指定重要無形民俗文化財。祭殿には1週間以内に獲れた猪の頭を供える習わしがあります。神楽は33番からなり、1番「星の舞」は13日に奉納されるので、14日は2番「清山」から始まります。狩法神事の32番「シントギリ」が舞われ、最後に勧請の諸神を送る「神送り」の舞をもって奉納神楽のすべてが終わります。特に「シントギリ」は、猪の通った足跡を訪ねる様子を表したもので、焼畑と狩猟生活が中心であった時代のことをよく伝えています。**[B-2]**



下水流臼太鼓踊(しもするうすだいいおどり) **国選択 県指定**

南方神社・一ツ瀬川原・下水流公民館で奉納されます。他の地区の踊りに比べテンポが速く、動きも活発で、激しい飛躍により神の魂がだいに鎮められていくと伝えられています。**[E-5]**



8番「西之宮大明神」



32番「シントギリ」



10番「八幡」

尾八重神楽(おはえかぐら) **県指定**

毎年、第4土曜日夜方から日曜日の朝にかけて、尾八重神社の大祭に奉納されます。舞臺「遊」が「舞上」までの33番からなり、特に「四人神楽」は東西南北の四方神の鎮める舞で、太力を持って魔を払い無事を祈ります。**[B-3]**



石野田臼太鼓踊(いしのだうすだいいおどり) **市指定**

江戸時代、肥後の細川藩士によって地区の若者たちに伝授されたと伝えられ、石野田地蔵境内にて、豊作祈願の虫追い踊りとして、また、現在は、火除け踊りとしても奉納されます。**[G-4]**



三納吉田盆踊り(みのうよしだほんおどり) **市指定**

おどり念仏で、精霊の供養をしてお盆に踊りまわられたのが始まりと言われています。藁の編み笠、かすり着物をまとい、四ツ竹や団扇などを使って優雅に舞われます。**[F-4]**



中山棒踊(なかやまぼうおどり) **市指定**

戦中戦後の約20年間途絶えていた中山棒踊りは、昭和45(1970)年に復活し、現在は、毎年11月22日に中山神社大祭に牛馬安全と五穀豊穡を祈って奉納されます。**[G-4]**



中尾棒踊(なかおぼうおどり) **市指定**

五穀豊穡や悪疫退散などの神に祈る勇壮な踊りで、旧暦の9月9日、龍房山中腹に鎮座する霧島様(霧島神社)大祭に奉納されます。**[C-2]**



平郡十五夜踊(へくりじゅうごやおどり) **市指定**

旧暦8月の十五夜に近い土曜日に鉦の音に合わせて踊られる太鼓踊で、手甲、脚半絆、かすり姿の女性が優雅に踊ります。**[F-4]**



木喰五智館

無形民俗文化財



自然のめぐみ



ひとつせ
一ツ瀬ダム 「九州最大の水ガメ」の愛称で知られる高さ130mのアーチ式ダムです。ダム湖の名は「米良湖」といいます。 C-3



すぎ やす きょう
杉安峡 古くから山業水明の地として有名。四季折々の彩りが訪れた人を楽しませ、観光客にも話題を呼んでいるスポット。一年中、季節の植物を愛でられるが、特に梅雨時に咲き誇る鮮やかなアジサイは人気です。 E-4



う らく つばさ さと
有楽椿の里 12月から4月まで早咲きで開花が長い、淡紅色に紫を帯びた日本にはない色をもっています。 B-3



恵まれた眺望



速開都比売神社

米良街道・杉安を過ぎ20分、岩井谷トンネル手前より旧道に入った対岸にあります。奥山には、標高200mの山地の頂を源とする滝がひっそりと流れ落ち、谷間に注ぎ込む水は人々の暮らしを潤してきました。今では、選が昔から山里の歴史をつづつた谷と1本の流が息づかぬ姿を昇せられます。 D-3

舞の滝



尾八重の一本杉

樹高22.5m、根回り9.5m、推定樹齢400~450年の巨木。高所で風当たりが強いので樹高が伸びず、樹勢が下部に垂積したため独特の形をしています。また、尾八重の一本杉に通じる山道は、美郷町に至る要路であり、天正5年(1577年)伊東氏豊後落ちの路筋でもあります。 B-3

自然のめぐみ

恵まれた土壌が創り出す

西都市の恵まれた気候と豊かな土壌から生み出される農産物は県内だけでなく、全国でも高く評価されています。その代表的なものが、グリーンザウルスの愛称で親しまれているピーマン、また南国の気候と卓越した技術で栽培された完熟マンゴー、やわらかく甘味が強いスイートコーン、果皮の甘さとまろやかな味の完熟キンカン(たまたま)など西都の特産品としてブランド化が推進されています。またこれらをベースにつくられる二次加工品も新しい宮崎のブランドとして注目を浴びています。さらに、東米良のゆずを原料とした加工品も着実に愛好者を増やしています。

また、うなぎ・コイ・アユなど天然の川魚、冬の味覚のイノシシ料理など素朴な味を心ゆくまで楽しめます。良質な水と甘露を原料につくられた焼酎も絶品、お土産にするのもおすすめです。

清水台総合公園 F-4

福祉・スポーツ・レクリエーションをミックスした総合公園で、スポーツキャンプが行われる多目的広場、約50mのスライダー等の楽しい施設がある遊具広場、さらに4コース全36ホールのパークゴルフ場があります。

駐車場 400台
問合せ 0983-43-3478(スポーツ振興課)



杉安川仲島公園 E-4



流水プールには、期間中お子様を連れてご家族も多く訪れます。また、公園内には野球場・多目的広場もあり、さまざまなイベントが催されます。

駐車場 40台
問合せ 0983-43-3478(スポーツ振興課)

プール利用料金(利用期間 競泳6月1日~9月30日、流水7月1日~8月31日)

対象	午前9:30~12:30	午後13:30~17:00	全日 9:30~12:30 13:30~17:00	薄暮 17:30~20:00
幼児	100円	100円	150円	
児童生徒	210円	210円	310円	
一般	310円	310円	470円	310円(競泳プールのみ)

金額は消費税を含む

施設ご利用案内

施設名	電話番号	開館時間	休館日	入館料
西都原ガイダンスセンター このはな館	43-6230	夏期 午前9時~午後6時 冬期 午前9時~午後5時	毎週月曜日 (国民の祝日の場合翌日) 年末年始(12/29~1/3)	無料
宮崎県立 西都原考古博物館	41-0041	午前10時~午後6時 ※入館は午後5時30分まで	毎週月曜日 国民の祝日の翌日 年末年始(12/28~1/4)	無料
西都原歴史民俗資料館	43-1111 (内線5703)	午前9時~午後5時 ※入館は午後4時30分まで	毎週月曜日 国民の祝日(文化の日を除く) 年末年始(12/28~1/3)	無料
木喰五智館	43-1111 (内線5703)	午前9時~午後5時	年中無休	無料
西都原土地改良歴史資料館	42-1052	午前9時~午後3時 (12時~1時は休み)	毎週月・水・木・土曜日 年末年始(12/28~1/3)	無料
有楽椿の里	43-1111 (内線5703)	午前9時~午後5時 ※管理棟は午前10時~午後4時	年中無休 ※管理棟のみ12/28~1/4	無料
眺峰館	43-1111 (内線5703)	午前9時~午後5時	年中無休	無料
西都原立図書館	43-0584	午前9時~午後6時 (日曜日は10時~5時)	毎週月曜日 毎月1日(月初) 国民の祝日 年末年始(12/29~1/3)	無料



レジャーランドさいと

恵まれた環境

澄んだ青空の下で、季節ごとにいろいろなスポーツが行われています。

EVENT

1 January

石野田白太鼓踊
【開催日】1月下旬頃
【場所】石野田火除地蔵堂
肥後細川藩主によって伝授された、火除け・豊作祈願の踊り。[G-4]

2 February

Jリーグ春季キャンプ
【開催日】2月
【場所】清水台総合公園
Jリーグ選手の練習を身近に見ることが出来る。また、他のチームとの練習試合も観戦することが出来る。[F-4]

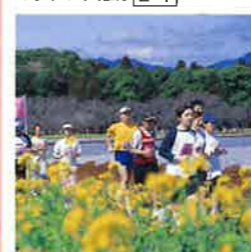
**ヤクルトスワローズ
春季キャンプ**
【開催日】2月上旬~3月上旬
【場所】西都原運動公園
人気球団 ヤクルトスワローズの若手選手がキャンプを行う。サイン会などイベント盛りだくさん。[F-4]

有楽椿まつり
【開催日】2月上旬
【場所】尾八重眺望館(牧場跡)・有楽椿の里

県の文化財、縦木尾有楽椿が見頃を迎える2月に眺望館をメイン会場として「東米良有楽椿」まつりが開催される。東米良の特産品販売もある。[B-3]

3 March

**西都原
このはなマラソン大会**
【開催日】3月中旬
【場所】西都原
菜の花を背景に開催されるマラソン大会。[E-4]



西都原の菜の花
【見頃】3月中旬~4月中旬
【場所】西都原
約30万本の菜の花が黄色いジュウタンを敷きつめる。[E-4]

4 April

西都花まつり
【開催日】3月下旬~4月上旬
【場所】西都原
2,000本の桜と約30万本の菜の花を背景に、様々なイベントが催される。また、夜桜も楽しめる。[E-4]

高取山のミツバツツジ
【開催日】4月中旬~
【場所】西都原高取山
市の花であるミツバツツジが高取山一帯に咲き誇り、深紅の山に変える。[E-4]

7 July

都萬神社七夕更衣祭
【開催日】7月7日
【場所】都萬神社
都萬神社のご祭神であるコノハナサクヤヒメに似せたご神木の衣替えが行われる。[E-5]

ひまわり
【見頃】7月中旬
【場所】西都原
ひまわりの花言葉は「光輝」。宮崎の夏は四季を彩る西都原で「元気をチャージ」してみませんか。[E-4]

長谷観音夏まつり
【開催日】7月中旬
【場所】三納地区札の元
県内有数の古寺である長谷観音寺の縁で、地元の有志で企画運営する手作りのまつり。[E-4]

西都夏まつり
【開催日】7月下旬
【場所】妻市街地
勇壮な太鼓台が目玉のまつり。その他様々な催しが盛りだくさん。[F-5]



8 August

三納吉田盆踊り
【開催日】7月と8月のお盆の日
【場所】西都市内
おどり念仏で、精霊の供養をしてお盆に踊りまわられたのが始まりと言われている。[F-4]

9 September

下水流白太鼓踊
【開催日】9月上旬(旧暦8月1日)
【場所】南方神社・下水流公民館ほか
五穀豊穡、火難・水難除けに奉納される伝統芸能。[E-5]



平郡十五夜踊
【開催日】9月中旬
(旧暦8月15日に一番近い土曜日)
【場所】三納平郡公民館・JA宮の下集荷場
異国情緒あふれる踊り。[F-4]

10 October

中尾棒踊
【開催日】10月中旬(旧暦9月9日)
【場所】中尾 踊庭神社
伊東主従の武士が豊後落ちの後、農耕の傍ら武芸に励むために始めた棒踊り。[C-2]

三財へそ祭り
【開催日】10月第4日曜日
【場所】三財小学校グラウンド(雨天時同校体育館)
三財地区が宮崎県の真ん中に位置することから、へそ踊り、へそ相撲など「へそ」にちなんだイベントが開催される。[F-3]

西都原のコスモス
【見頃】10月中旬~11月中旬
【場所】西都原
約300万本の可憐なコスモスが西都原をピンク色に敷きつめる。[E-4]

11 November

西都古墳まつり
【開催日】11月第1土・日
【場所】西都原御陵墓前広場
古代浪漫に酔い、楽しみ、実感できる祭り。たいまつ行列や炎の祭典など古代イベント盛りだくさん。[E-4]

都於郡城社まつり
【開催日】11月第2土・日
【場所】都於郡城周辺
都於郡城主伊東氏を顕彰するまつり。武者行列や伝統芸能など、イベントが催される。[G-4]

中山棒踊
【開催日】11月22日
【場所】中山神社境内
牛馬安全と五穀豊穡を祈って中山神社大祭において奉納される。[G-4]

尾八重神楽
【開催日】11月第4土・日
【場所】尾八重神社
無病息災・山岳信仰とともに受け継がれてきた神楽。2日間かけて33番が舞われる。[B-3]

12 December

銀鏡神楽
【開催日】12月14日・15日
【場所】銀鏡神社
独特の狩り言葉や猪頭が献上されるなど、狩猟信仰が色濃く残る神楽。2日間かけて33番が舞われる。[B-2]

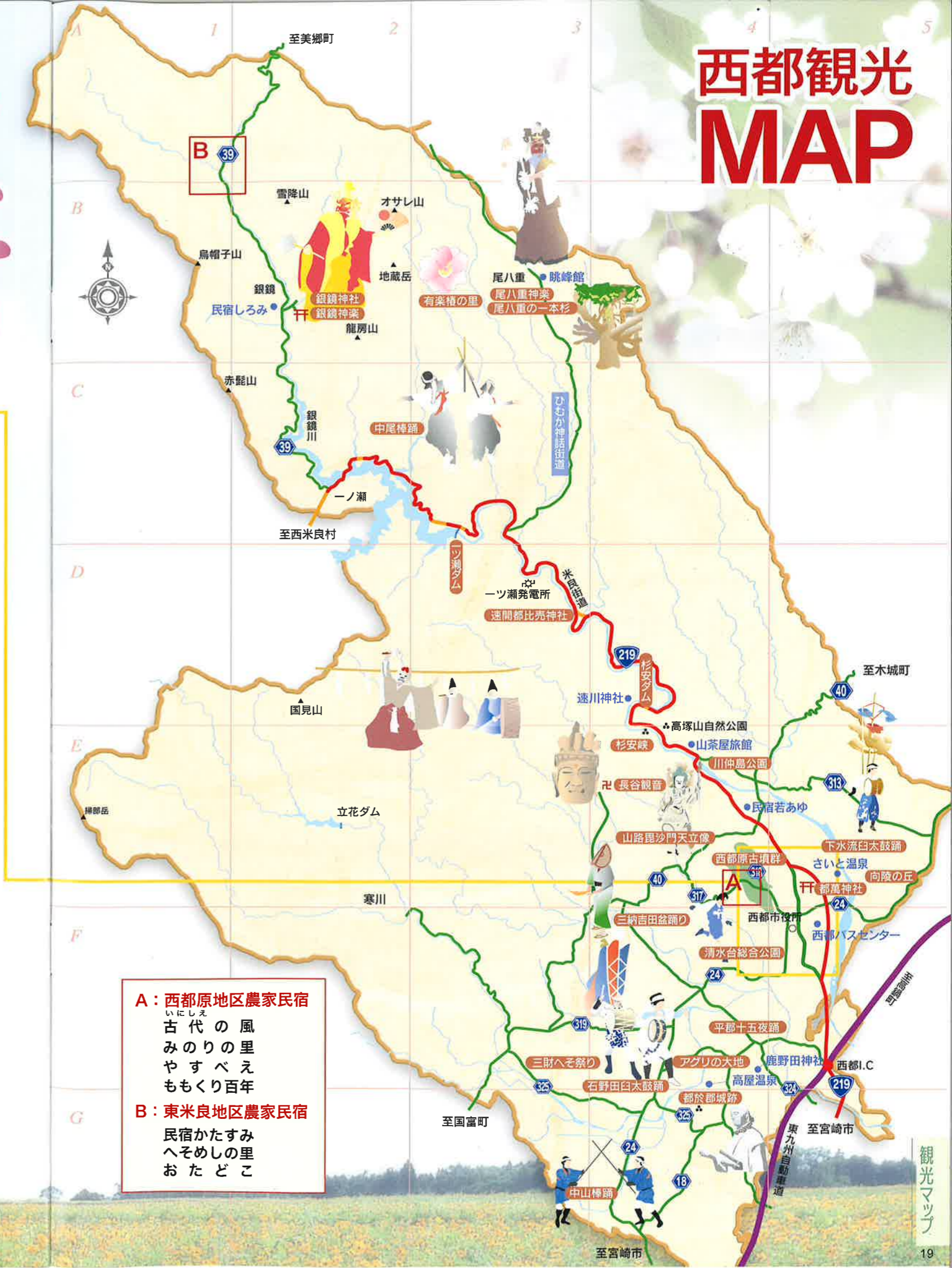
縦木尾有楽椿
【開催日】12月~4月
【場所】有楽椿の里
茶の湯の席で重宝された椿。ピンク色のかわいい花が咲く。見頃が長いのも魅力。[B-3]

古代から西都の人々は祭り好き

まつりイベント

祭事・イベント

西都観光MAP



A: 西都原地区農家民宿
いにしえ
古代の風
みのりの里
やすべえ
ももくり百年

B: 東米良地区農家民宿
民宿かたすみ
へそめしの里
おたどこ

みどころ いっぱい

ROMAN ROAD



ACCESS

交通アクセス



各インターから西都インターまでの距離と時間

インター名	距離	時間
えびの	103.2km	1時間20分
鹿児島	171.0km	2時間10分
熊本	206.3km	2時間30分
福岡	309.2km	3時間30分
広島	585.9km	6時間30分

各主要都市への所要時間



空路 (宮崎空港)

東京(羽田)	90分	福岡	40分
名古屋(中部)	70分	沖縄	80分
大阪(伊丹)	60分	韓国(ソウル)	90分
広島(広島西)	60分		

陸路 (JR/宮崎駅)

博多	6時間
小倉	5時間
大分	3時間20分
鹿児島	2時間

海路 (宮崎港)

神戸	12時間20分
----	---------

高速バス (宮崎駅)

<バス名>	<区間>	<所要時間>
はまゆう号	鹿児島～宮崎	2時間50分
なんぷう号	熊本～宮崎	3時間10分
フェニックス号	福岡～宮崎	4時間10分

西都市宿泊施設一覧

STAY

宿泊施設名	住所	電話番号 市外局番(0983)	部屋数 <定員>	MAP (19頁)
旅館 峡都	西都市妻町1丁目57番地	43-0356	9室(25人)	F-5
山茶屋旅館	西都市大字南方1111-3	42-3443	12室(24人)	E-4
沼口旅館	西都市小野崎1丁目103番地	43-0080	11室(35人)	F-5
さいと温泉	西都市大字調殿1355-1	43-1000	29室(80人)	E-5
高屋温泉	西都市大字鹿野田10726	42-4283	20室(80人)	F-4
民宿若あゆ	西都市大字南方2173	42-5458	7室(20人)	E-4
ホテルプリムローズ西都	西都市妻町3丁目13番地	43-3313	75室(100人)	E-5

農家民宿施設名	問合せ先 市外局番(0983)	MAP (19頁)
いにしえ 古代の風 みのりの里	西都市 グリーン・ツーリズム 研究会事務局 43-3421	E-4
やすべえ		E-4
ももくり百年		E-4
民宿かたすみ		C-2
へそめしの里		A-1
おたどこ		A-1

西都市 Saito City

〒881-8501 宮崎県西都市聖陵町2丁目1番地
2-1 Seiryō-cho Saito-shi Miyazaki-ken 881-8501
TEL0983-43-1111 FAX.0983-43-2067
<http://www.city.saito.lg.jp>

一般社団法人 西都市観光協会 Saito Tourist Association

〒881-0015 宮崎県西都市聖陵町1丁目88番地
1-88 Seiryō-cho Saito-shi Miyazaki-ken 881-0015
TEL0983-41-1557 FAX.0983-41-1559
<http://www.saito-kanko.jp>